

2/17

2012 早稲田の対策

紙面限定



早稲田大学を受験された皆様、試験お疲れ様でした。

本紙には、増田塾の講師陣が研究した、2/18に行われる「**早稲田大学・人間科学の傾向と対策**」の特集記事を掲載しています！！（勿論、昨日の解

2/18 早稲田大学（人間科学部） 英語の傾向・対策

昨年（2011年）度の過去問を使って明日のシミュレーションをしておくこと。おそらく既に一度は解いているはずだ。書き込みがあってもかまわない。問題を広げ、明日試験会場でどう解き進めていくかの＜段取り＞を確認する。おそらく今年度も出題形式は変わらないだろう。

大問Ⅰで150語～200語程度の短文を読んだ内容真偽が8題と、大問Ⅱで前置詞の空所補充が15題と、大問Ⅲで正誤判定が10題。＜段取り＞の確認は、できるだけ詳細にやること。

まずは大問単位での解き進める順番だ。残念ながら鉄則などない。自分がいちばん落ち着いて取り掛かれる順を試してみるといい。例えば、大問ⅡとⅢを先に解く。この場合、手応えのある問題だけをやって、検討が必要な問題にはそうとわかる印をつけて最後に回すという＜段取り＞にしておく。どのような印にするか、どのくらいの時間や感触で後回しにすると判断するかを、過去問を解いた時のことを思い出しながらかめておく。もちろん、最後にとっておく時間も決めておかないといけない。この＜段取り＞の場合、大問ⅡとⅢにどのくらい時間を残しておけばいいか分かった上で、大問Ⅰに取り掛かれるのが利点だ。大問Ⅰから進める場合は、一題の制限時間がある程度決めておくこと。時間を空けて読み直す余裕はおそらくないので、次の一題に進む前に内容真偽の設定はすべて解答する覚悟を決めておく。大問ⅡとⅢに残す時間は、過去問を解いた時を思い出して、ある程度決められるはずだ。例えば大問Ⅱの前置詞は時間をかけることで思い出すものもあるかもしれないが、可能性は低い。知識問題なので、時間を倍かけても正答率が上がるわけではない。Ⅲはかけた時間が正解箇所の発見につながるかもしれないが、早稲田の正誤問題は語法の正否を問う問題が半数近く出る可能性が高く、それが自分の知識の範囲外であれば、やはり余計な時間をかけても無駄になる。そこで一定の時間を算出しておき、極力大問Ⅰに時間が回るよう設定すべきだろう。

自分なりの＜段取り＞が決ったら、その通りに解き進めていくシミュレーションを納得のいくまでやっておくといい。そうすることで、おそらく明日は落ち着いて問題に取り組めるはずだ。まだ時間があるようなら、一つでも多く単語を覚え、過去問の英文をひたすら読み、英語で動く頭を作っておくこと。

人科受験者必見！ ワンポイント・アドバイス

大問Ⅱの NO WORD は空所の直前が動詞（準動詞）の場合、可能性が高い。見落とすな！

「なぜ？」が分かる充実の解説集！（HPより）

紙面上の速報は解答のみの記載となっておりますが、パソコン上のものは、今後の入試日程に活かすために、「**なぜその答えになるのか**」を説明した解説も載せてあります！

毎年作成していて気付くのですが、同じ問題が他の大学で出題されることが多々あります。また、塾生を見ていると、序盤の入試で気付いた問題点をすぐに改善できる生徒ほど、中盤後半から調子を上げていくことができていると思います。

早稲田・慶應の入試もいよいよ大詰めの時期に入りました。これからが本当の勝負です。“受けっ放し”で終わらないよう、次の試験に活かすための問題演習としても活かしてください。

増田塾は最新版の解答速報を配り、さらにホームページ上に解説を載せていきます！是非、パソコンホームページおよびブログをご利用ください！

【解説】

いずれの問題でも、読解と文構造把握力が純粋に試されているだけだ。あるいは、絶えず英文を熟読する習慣をつづけてきた受験生であれば、大した苦

1

- (1) 段落[1]第1文に「4歳に始まり、かれこれ14世紀以上続いている」とある。
- (2) この本を読んでいるみなさん自身もおそらく4歳から14歳の間だろう。読
- (3) 「読むために読んだ」＝「読むことそれ自体が読む目的だった」＝「読む
- (4) 「だれかに読めと言われたから読んだのではなかった」because anybody
- (5) 段落[2]第7文に「本はどれも、それまで自分の知らなかったことが結ま
- (6) 段落[3]第2文で「わずかな単語と24箇の文字でできた言葉で、どう
- (7) できるだろう」と感嘆している。
- (7) (a)と同じ理由で。著者は記号である言葉の組み合わせが観念世界に変
- (8) 消去法でいけるだろう。(a)「a severe reality」、(b)「Older people are more
- (9) れも本文中に見当たらない。
- (9) (a)「作者はつづいてルールを作っているわけではない」、(b)「著者はこの選集
- (10) んでできない」、(d)「この選集は売れることを念頭に作られてはいない」
- (10) 「みなさんの好みと私の好みとが一致している作品の多くで一致する

↑2/4 上智大学（英語）の解説例

他大学・他教科の解説
はHPで随時UP予定！

今後の速報予定

2月17日

早稲田・慶応・中央・日本

2月18日

早稲田・慶応・青学

2月19日

早稲田・慶応・青学・日本

2月20日

早稲田・慶応・日本

増田塾の解答速報は裏面に記載してます

2/16 慶應義塾大学(法) 英語 解答例

- I
(1) 2 (2) 3 (3) 4
II
(4) 4 (5) 2 (6) 8 (7) 0 (8) 4 (9) 0 (10) 1
III
(11) 7 (12) 9 (13) 4 (14) 6 (15) 0
(16) 6 (17) 5 (18) 9 (19) 2 (20) 0
(21) 1 (22) 2 (23) 7 (24) 8 (25) 9
IV
(26) 0 (27) 8 (28) 6 (29) 5 (30) 4
(31) 9 (32) 7 (33) 3 (34) 2 (35) 1
V
(36) 4 (37) 1 (38) 3 (39) 3 (40) 2
(41) 4 (42) 1 (43) 1 (44) 3 (45) 1
(46) 2 (47) 2 (48) 3 (49) 0 (50) 5
(51) 4

2/15 慶應義塾大学(文) 英語 解答例

[A] (I) このことは、我々が彼らがそうであつただろうと一般的に思っているほどには、彼らが必ずしも入浴に熱心でなかったことを示唆している。(II) (A) (III) as foul a lady as the smallpox

(IV) 浴場がなくなると、ほとんどの人たちは身体を洗う習慣もなくなった。そもそも、彼らの多くはその習慣に非常に浸っていたというわけでもないのだが。(V) (以下の4つから3つを組み合わせ、字数以内にまとめる) ① 古代ローマ時代には男女が混浴しており、性的にふしだらで、道徳的に不潔と思われていた。② キリスト教によって、神聖さと不浄さを同一視する伝統が生まれた。

③ 中世の疫病の流行の感染を防ぐには、細菌が侵入する毛穴を泥で塞ぎ、体を洗わない方がよいと考えられた。④ 梅毒の流行が、浴場と関連づけられた。

[B] (I) 子供はどんな状況であっても、比較的分け隔てなく協力すること。(II) (3) (III) 大人が本当に困っているか、そうでないか。

(IV) これらの方法で柔軟に他者を助けるためには、幼児は第一にさまざまな状況における多少の目標を認識できる必要があり、第二に彼らを助けるという利他的な動機を持っている必要がある。

[C] People at that time could not know the cause of plague, so they are not entirely agreed on how they should prevent its infection.

2/16 明治大学(商) 英語 解答例

- 【I】
問1 (あ)→4 (い)→3 (う)→1 (え)→3 (お)→3 (か)→4 (き)→1
問2 (A)→led (B)→become (C)→overseen (D)→compared
問3 (1)→4 (2)→4 (3)→3 (4)→2 (5)→1
(6)→4 (7)→1 (8)→2
問4 A群→4 B群→4 C群→2
【II】
問1 (あ)→2 (い)→4 (う)→3 (え)→4 (お)→3
(か)→1 (き)→3
問2 (A)→had (B)→written (C)→placing (D)→hitting
問3 [ア]→6 [イ]→5 [ウ]→4 [エ]→3
問4 (1)→3 (2)→3 (3)→3 (4)→2 (5)→3
(6)→4 (7)→1 (8)→4
問5 A群→2 B群→2
問6 (1)→1 (2)→2 (3)→1 (4)→3
【III】
(A)→5 (B)→3 (C)→4 (D)→6 (E)→2 (F)→1

2/16 法政大学 英語 解答例

- I
1. (1) b (2) c
2. (4) b (5) a
3. (1) f (2) e (3) a (4) d
4. (1) c (2) d (3) c
5. c
II
1. (1) c (2) d (3) c (4) b
2. a 3. h 4. e 5. e 6. d 7. B
8. a 9. a
III
1. (1) c (2) d (3) e (4) a (5) b
2. (A) c (B) e (C) a (D) d (E) b
3. (あ) c (い) b (う) e (え) a (お) d
4. e
5. a, e
IV
1. (A) b (F) e (G) d (H) c (I) a
2. a 3. a 4. a 5. b 6. c 7. D
8. c, h



難関私大文系専門塾No.1

<http://masudajuku.jp/>

渋谷校	立川校	新宿校	川越校	春日部校	本厚木校	柏校	京都校	守口校
池袋校	町田校	大宮校	所沢校	横浜校	千葉校	大阪校	三宮校	上本町校

